

2017年度 決算説明会

第94期（2017年4月1日～2018年3月31日）

2018年5月23日

1. 会社概要
2. 2017年度実績ならびに
2018年度予想
3. 中期経営計画（2018年度～2020年度）
4. Schraderバルブ事業の取得

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。



太平洋工業株式会社

1. **会社概要**
2. **2017年度実績ならびに
2018年度予想**
3. **中期経営計画（2018年度～2020年度）**
4. **Schraderバルブ事業の取得**



1-1 当社の主な事業

プレス製品



■ ハイブリッドバッテリーケース



■ センターピラー



■ ラゲージヒンジ



■ オイルパン



■ フロントサイドメンバー



■ キャリアプレート

樹脂製品



■ センターオーナメント



■ ホイールキャップ



■ アクセルペダル



■ エンジンカバー

バルブ製品



■ バルブコア



■ チューブレスバルブ



■ リリーフバルブ



■ チャージバルブ



TPMS製品



■ 送信機

1-2 グループ会社の概要

国内 8 工場、海外子会社 6 カ国 13 社で事業展開
 (他、国内子会社 2 社、持分法適用会社 1 社)

JCR格付
A-(安定的)

プレス・樹脂製品事業

バルブ製品事業

その他

個別

中部	西大垣工場	北大垣工場
	東大垣工場	美濃工場
	養老工場	
九州	九州工場	
東北	栗原工場	
	若柳工場	

連結

台湾	太平洋汽門工業股份有限公司
タイ	Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd
米国	Pacific Manufacturing Ohio, Inc.
	Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.

国内連結子会社
ピーアイシステム(株)
持株会社等
Pacific Industries USA Inc.
太平洋工業 (中国) 投資有限公司

中国	天津太平洋汽車部件有限公司
	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
国内	太平洋産業株式会社

韓国	太平洋バルブ工業株式会社
	太平洋エアコントロール工業株式会社
中国	太平洋汽車部件科技 (常熟) 有限公司



タイ	Pacific Auto Parts (Thailand) Co., Ltd
----	--

ベルギー	Pacific Industries Europe NV/SA
------	---------------------------------

日本 (持分法適用会社)
PECホールディングス株式会社

1-3 コーポレート・ガバナンス

経営の効率性・公正性・透明性を上げ、企業価値を向上

■コーポレート・ガバナンス

・C Gコード全73項目遵守

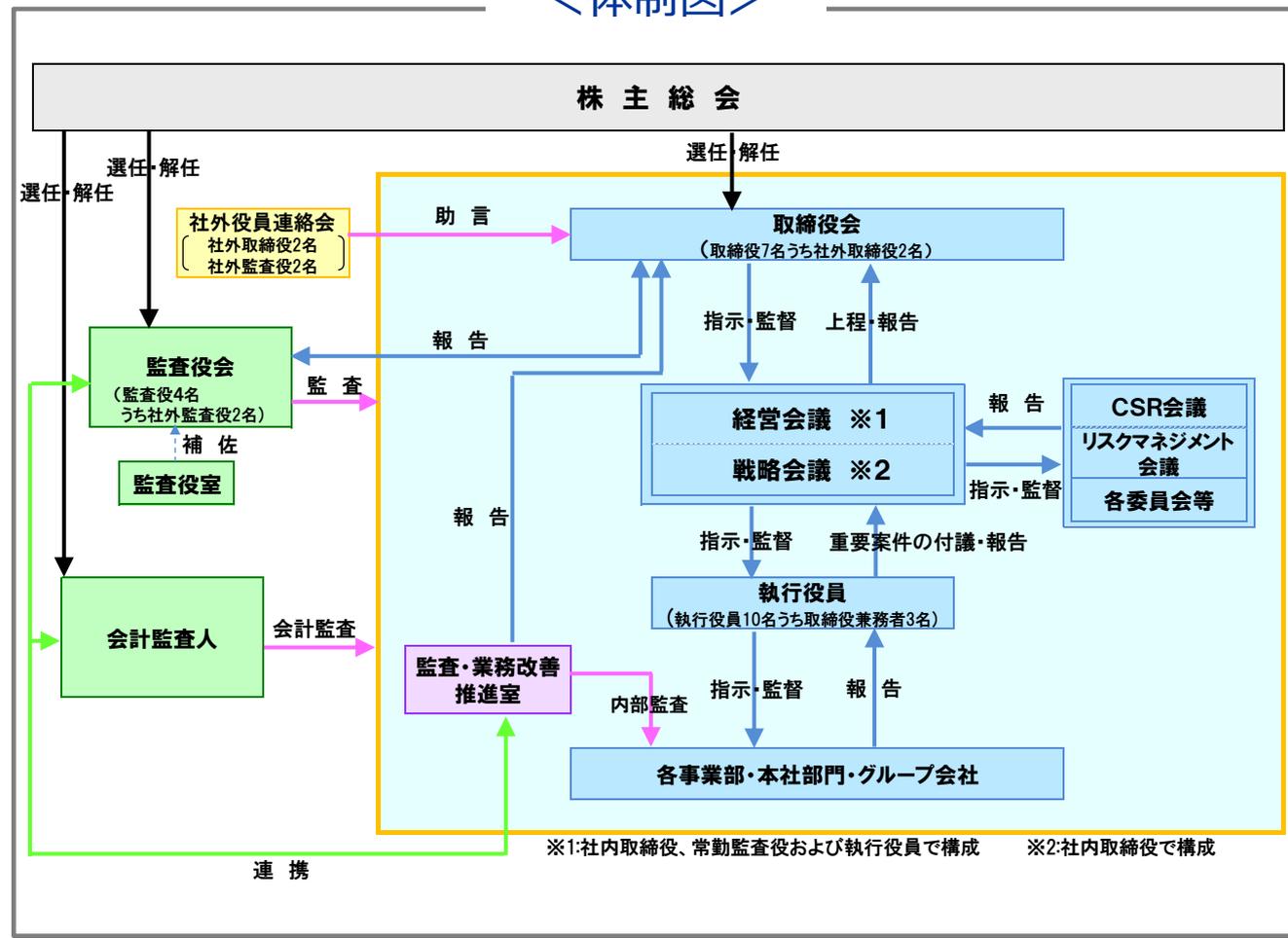
■内部統制

- ・グループ全社の内部統制強化
- ・監査役と内部監査部門が連携し適正確保
- ・社外役員と適時適切な意見交換、情報共有

■リスク管理

- ・全社リスク低減活動推進
- ・独立相談窓口設置
- ・情報セキュリティ強化

<体制図>



連携

1. 会社概要
2. 2017年度実績ならびに
2018年度予想
3. 中期経営計画（2018年度～2020年度）
4. Schraderバルブ事業の取得



2-1 連結業績実績

[百万円]

	16年度	17年度							
		18年2月 発表値	実績	連単 倍率	前期比		発表値比		
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	103,669	114,000	過去最高 117,758	1.6	14,088	13.6%	3,758	3.3%	
営業利益	過去最高 8,662	8,500	8,063	1.4	△598	△6.9%	△436	△5.1%	
経常利益	過去最高 9,957	9,700	9,485	1.3	△471	△4.7%	△214	△2.2%	
※1親会社 当期純利益	過去最高 7,524	6,900	7,393	1.4	△131	△1.7%	493	7.2%	
売上高 営業利益率	8.4%	7.5%	6.8%		△1.6%		△0.7%		
ROE	9.7%	—	8.5%		△1.2%		—		
ROA (営業利益ベース)	6.4%	—	5.4%		△1.0%		—		
一株当り 純資産	(円) 1,404	—	1,508		104	7.4%	—		

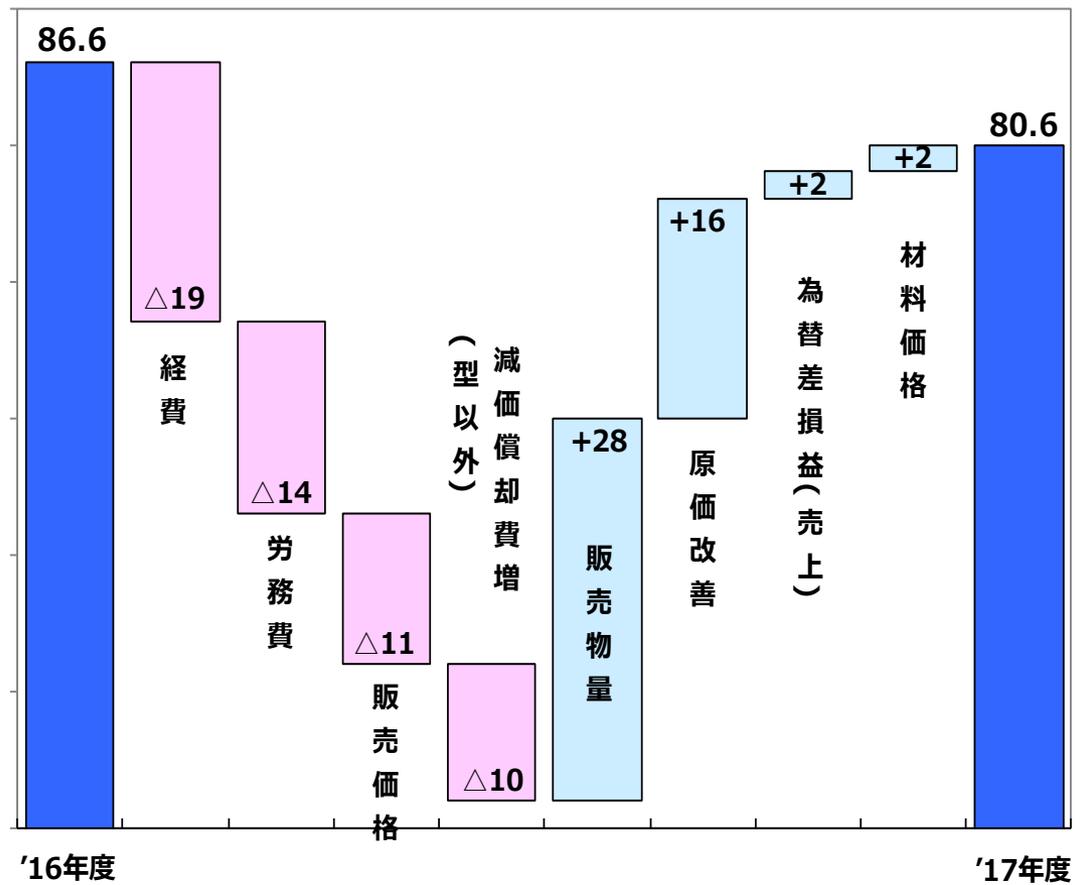
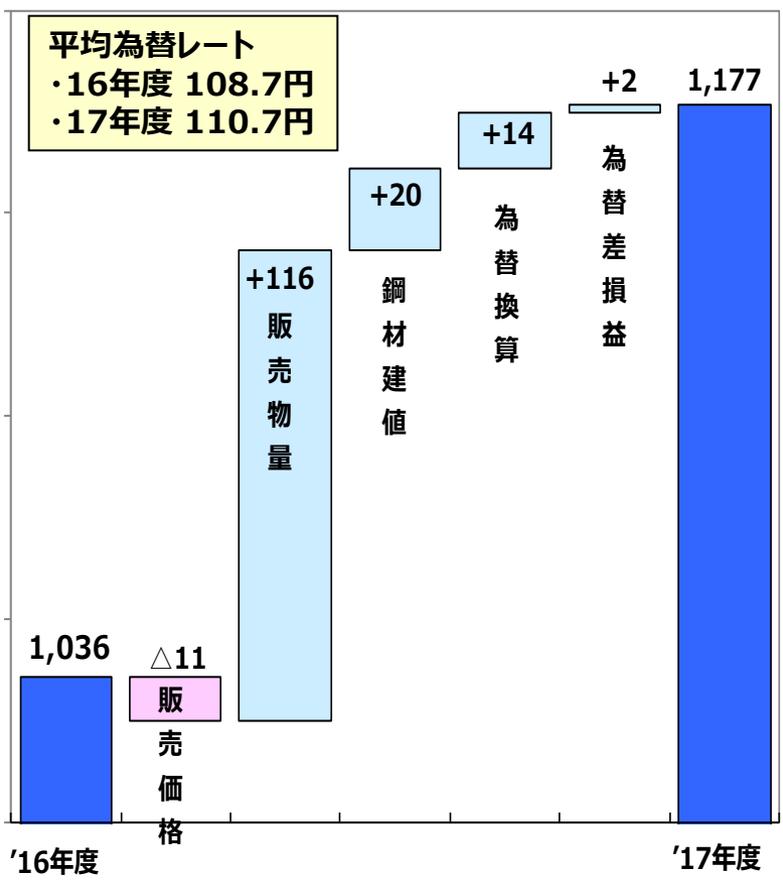
※1「親会社当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する当期純利益」を短縮して表示しております。



2-2 連結売上高・営業利益増減要因

《17年度 対 16年度》
売上高 +141億円

《17年度 対 16年度》
営業利益 △ 6億円



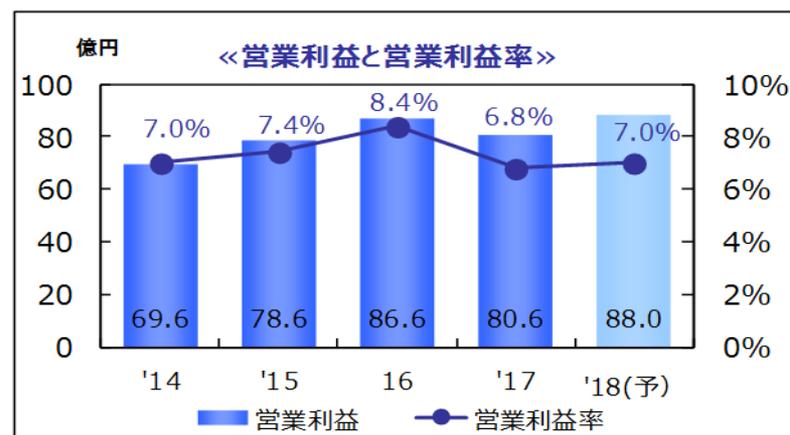
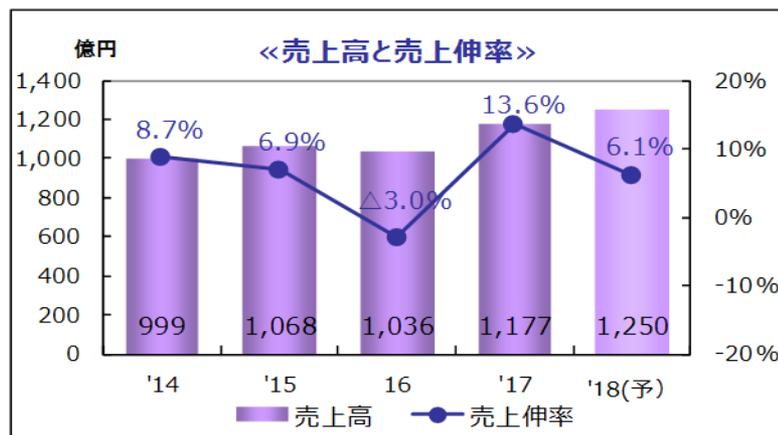
2-3 連結業績予想

☆最高更新見込み

[百万円]

	16年度	17年度					18年度			
		実績	連単 倍率	前期比		予想	連単 倍率	前期比		
				増減	増減率			増減	増減率	
売上高	103,669	過去最高 117,758	1.6	14,088	13.6%	☆ 125,000	1.6	7,242	6.1%	
営業利益	過去最高 8,662	8,063	1.4	△598	△6.9%	☆ 8,800	1.7	737	9.1%	
経常利益	過去最高 9,957	9,485	1.3	△471	△4.7%	9,800	1.5	315	3.3%	
※1親会社 当期純利益	過去最高 7,524	7,393	1.4	△131	△1.7%	7,200	1.6	△193	△2.6%	
売上利益 高率	8.4%	6.8%		△1.6%		7.0%		0.2%		
ROE	9.7%	8.5%		△1.2%		7.7%		△0.8%		
ROA (営業利益ベース)	6.4%	5.4%		△1.0%		5.4%		0.0%		
一株当り 純資産 ^(円)	1,404	1,508		104	7.4%	1,600		91	6.0%	

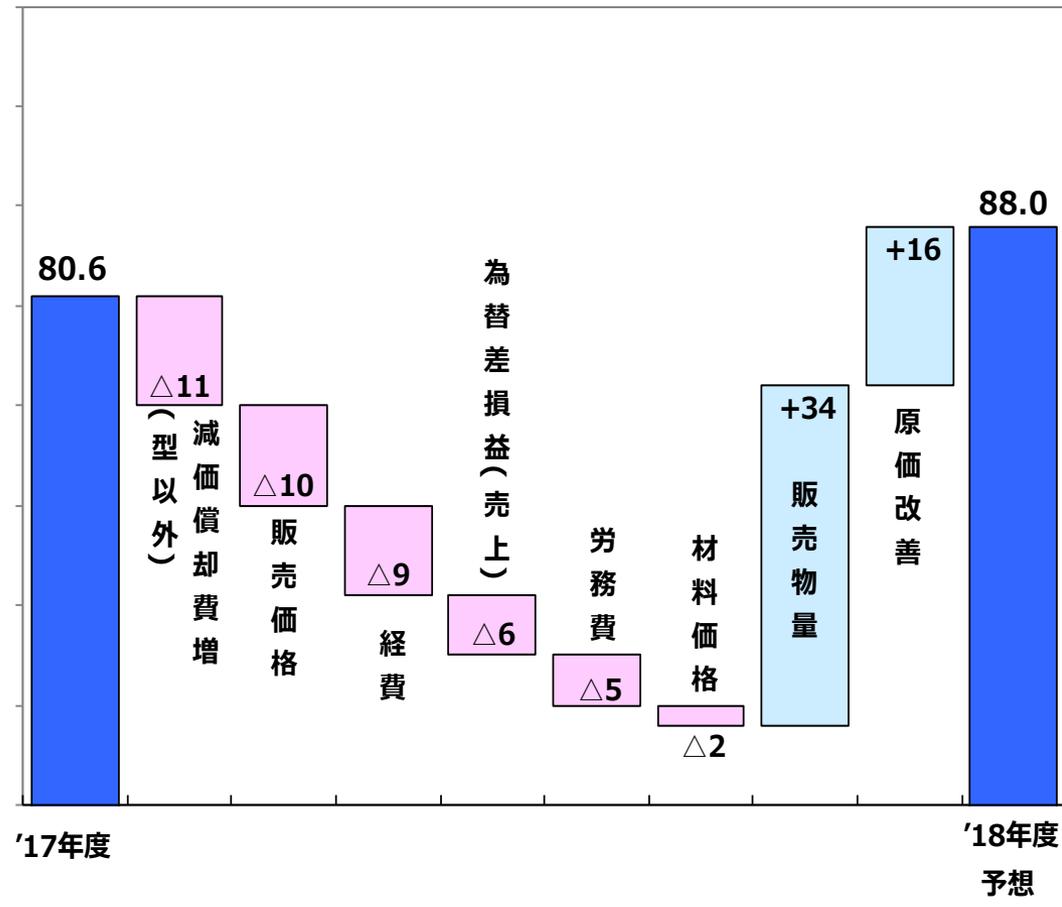
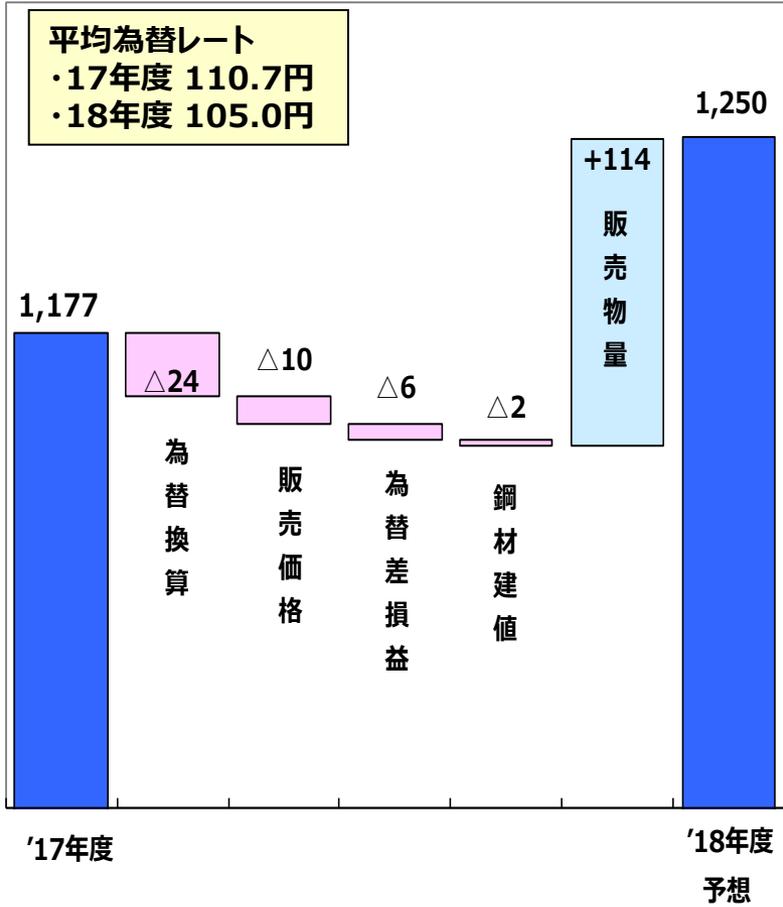
※1「親会社当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する当期純利益」を短縮して表示しております。



2-4 連結売上高・営業利益増減要因（予想）

«18年度予想 対 17年度»
売上高+72億円

«18年度予想 対 17年度»
営業利益+7億円



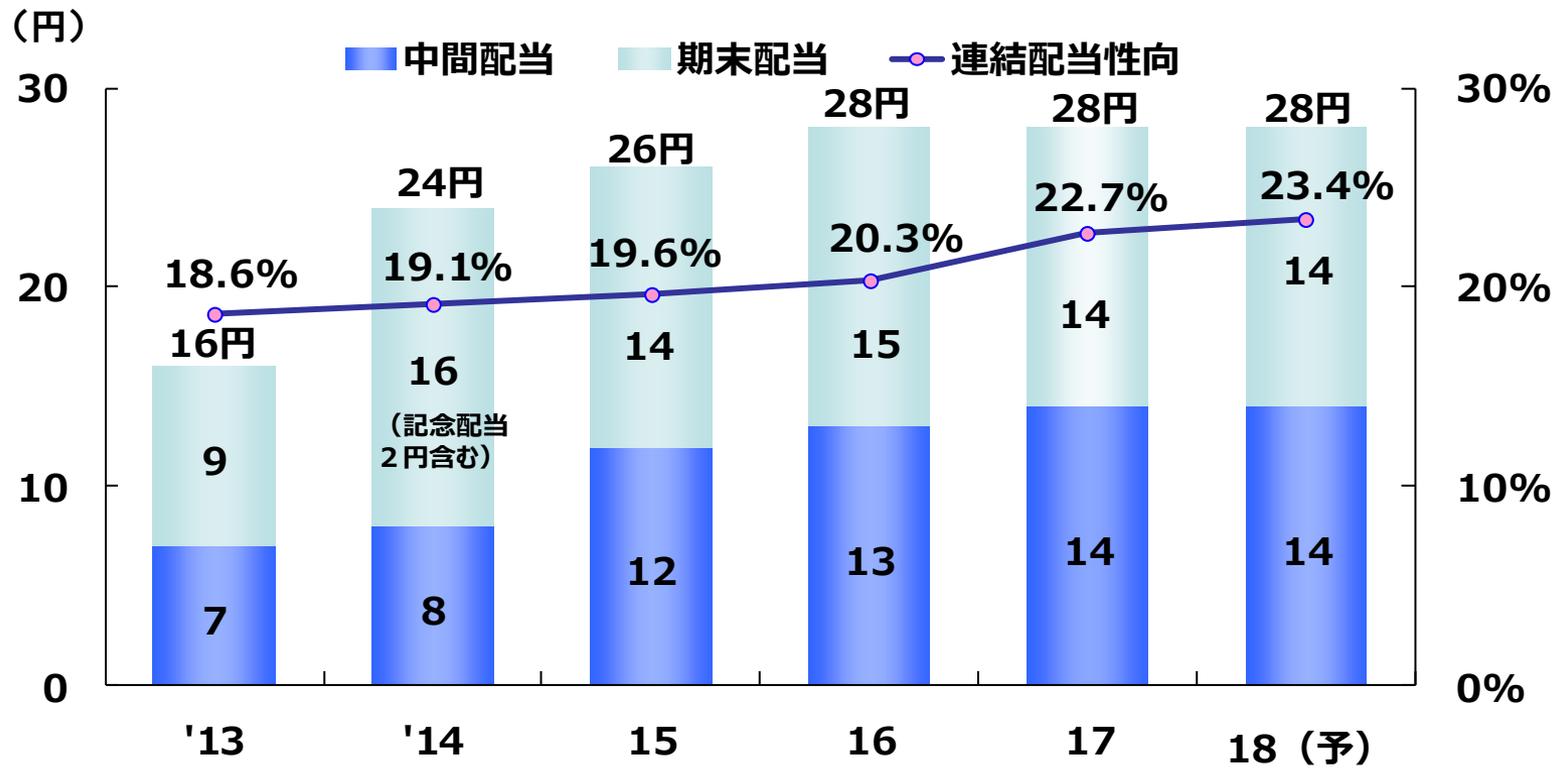
2-5 株主還元

配当は前期と同額も、配当性向は増加

■ 年間配当

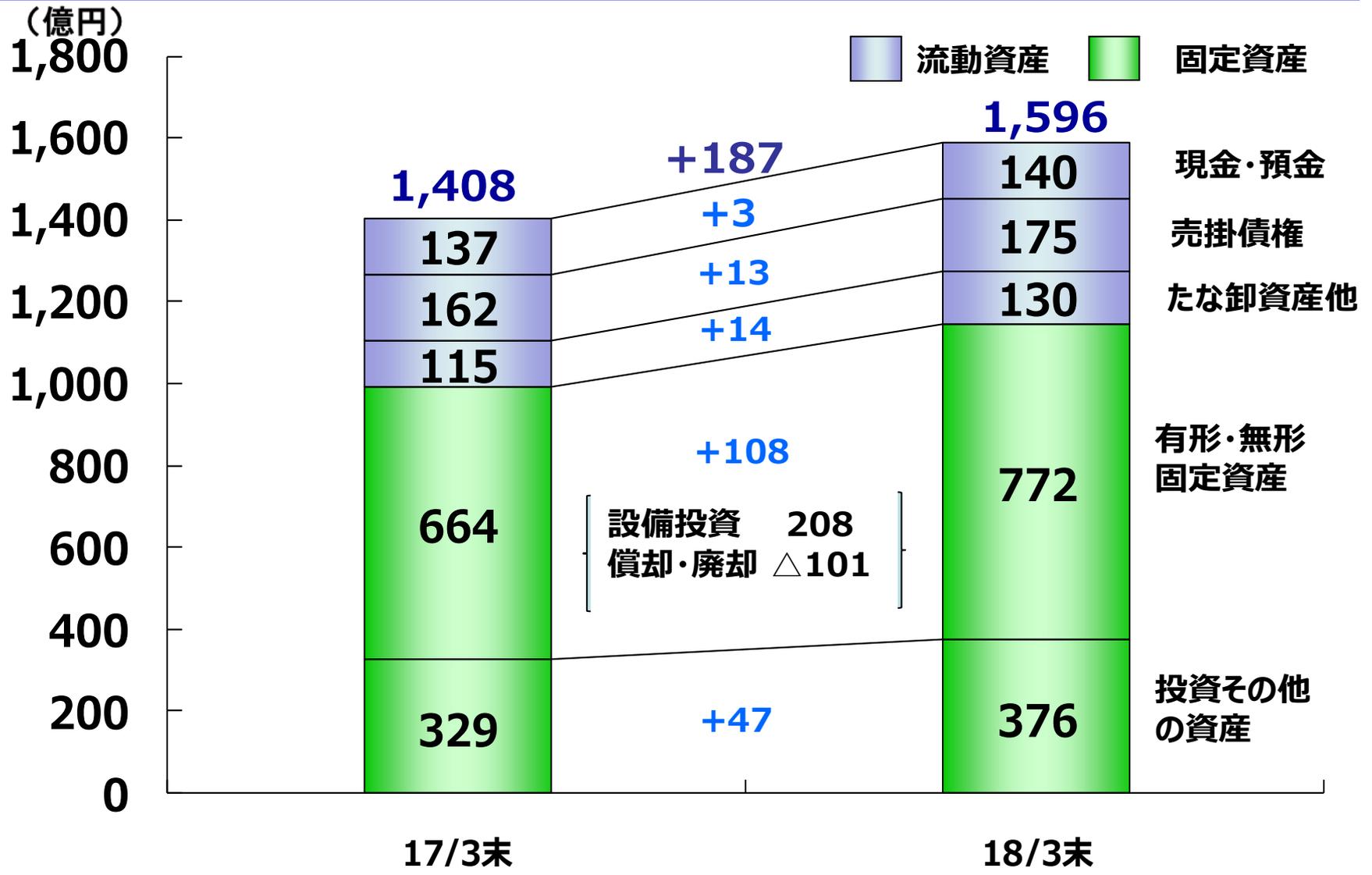
2017年度 年間：28円（中間：14円 期末：14円）

2018年度予想 年間：28円（中間：14円 期末：14円）



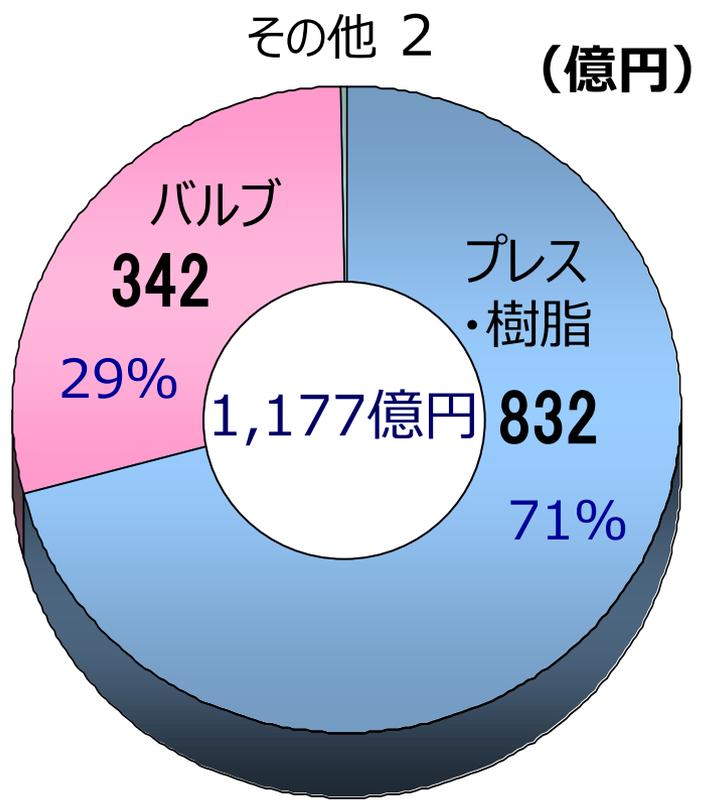
2-6 連結総資産増減内訳

戦略的な設備投資により有形固定資産が増加

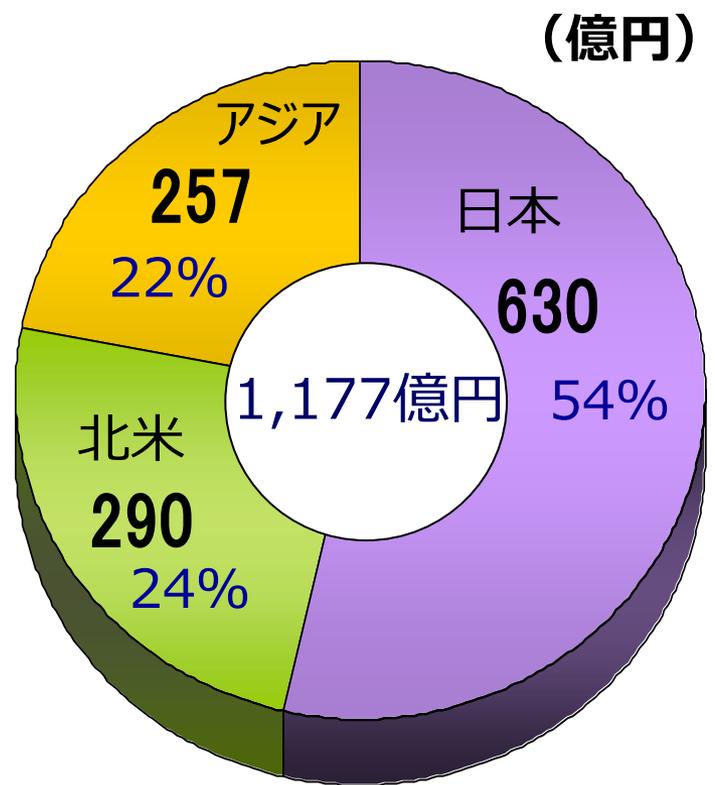


2-7 2017年度 連結セグメントの状況

事業別売上高



地域別売上高

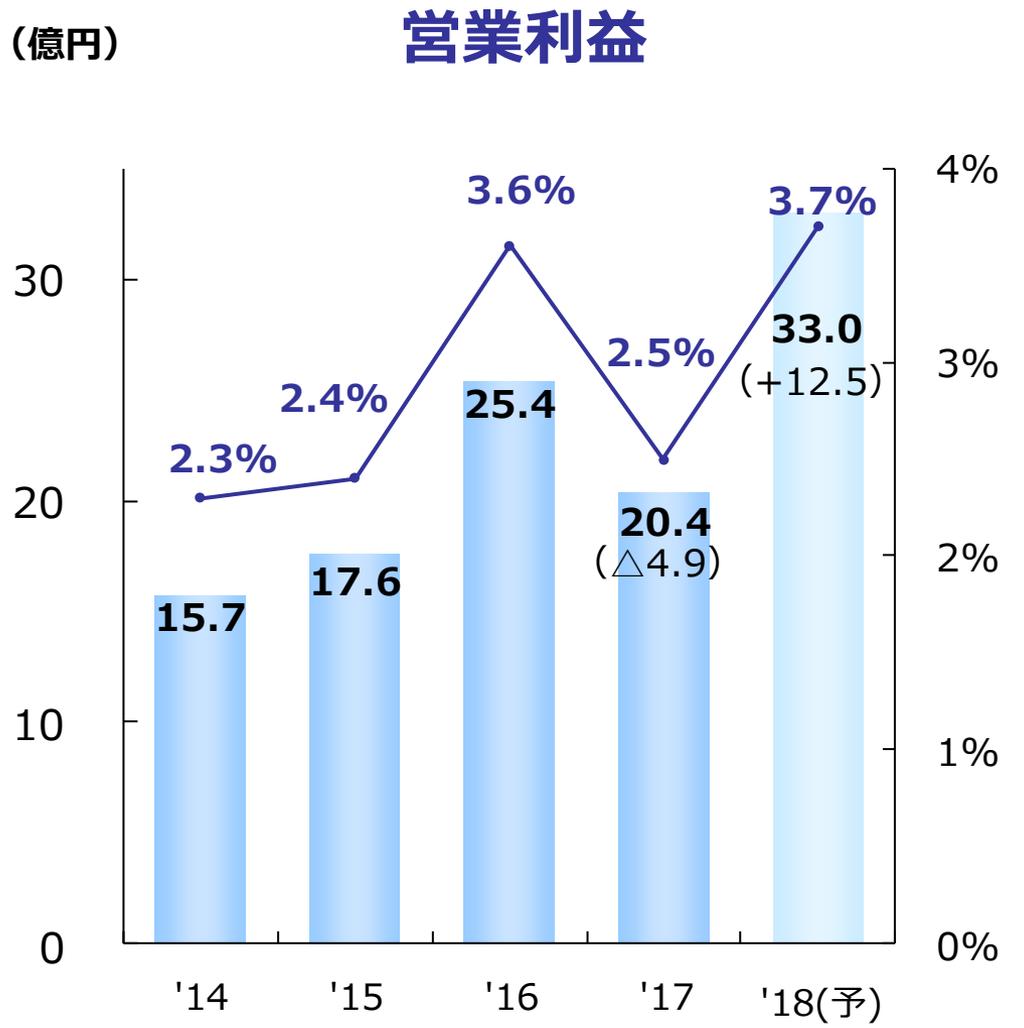
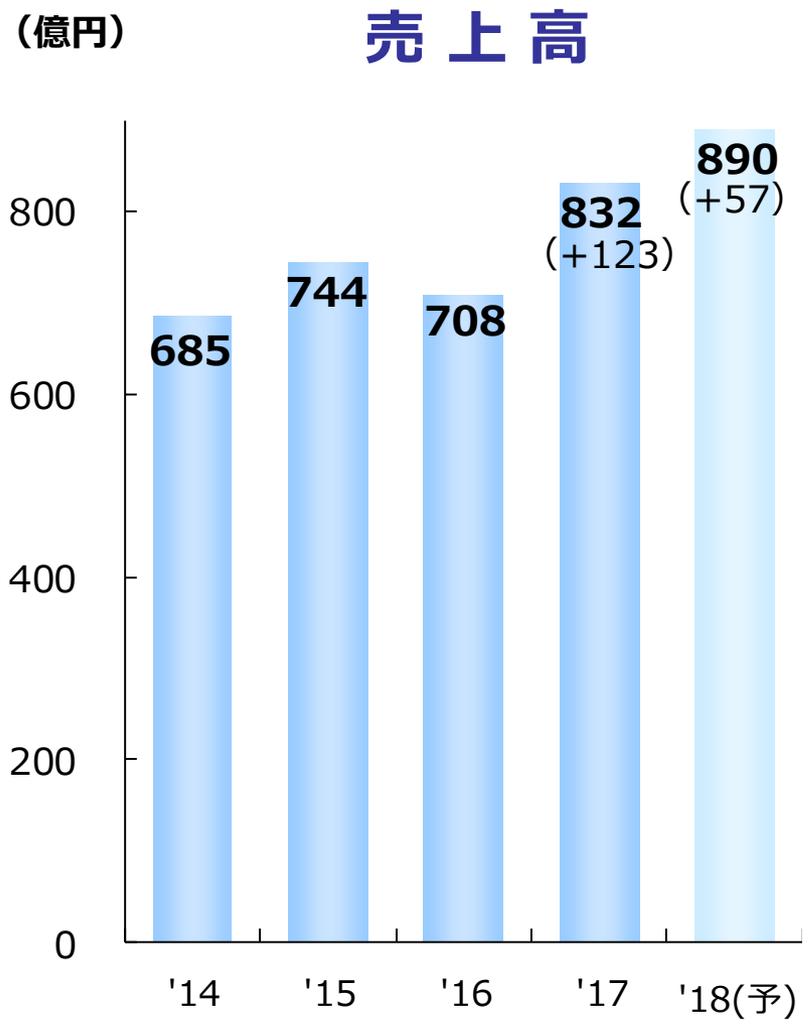


【プレス樹脂事業】 自動車用プレス・樹脂製品
 【バルブ事業】 タイヤバルブ、空調用バルブ、TPMS
 【その他】 情報・サービス

【日本】 大垣・九州・東北の3拠点体制
 【北米】 米国
 【アジア】 台湾・韓国・タイ・中国

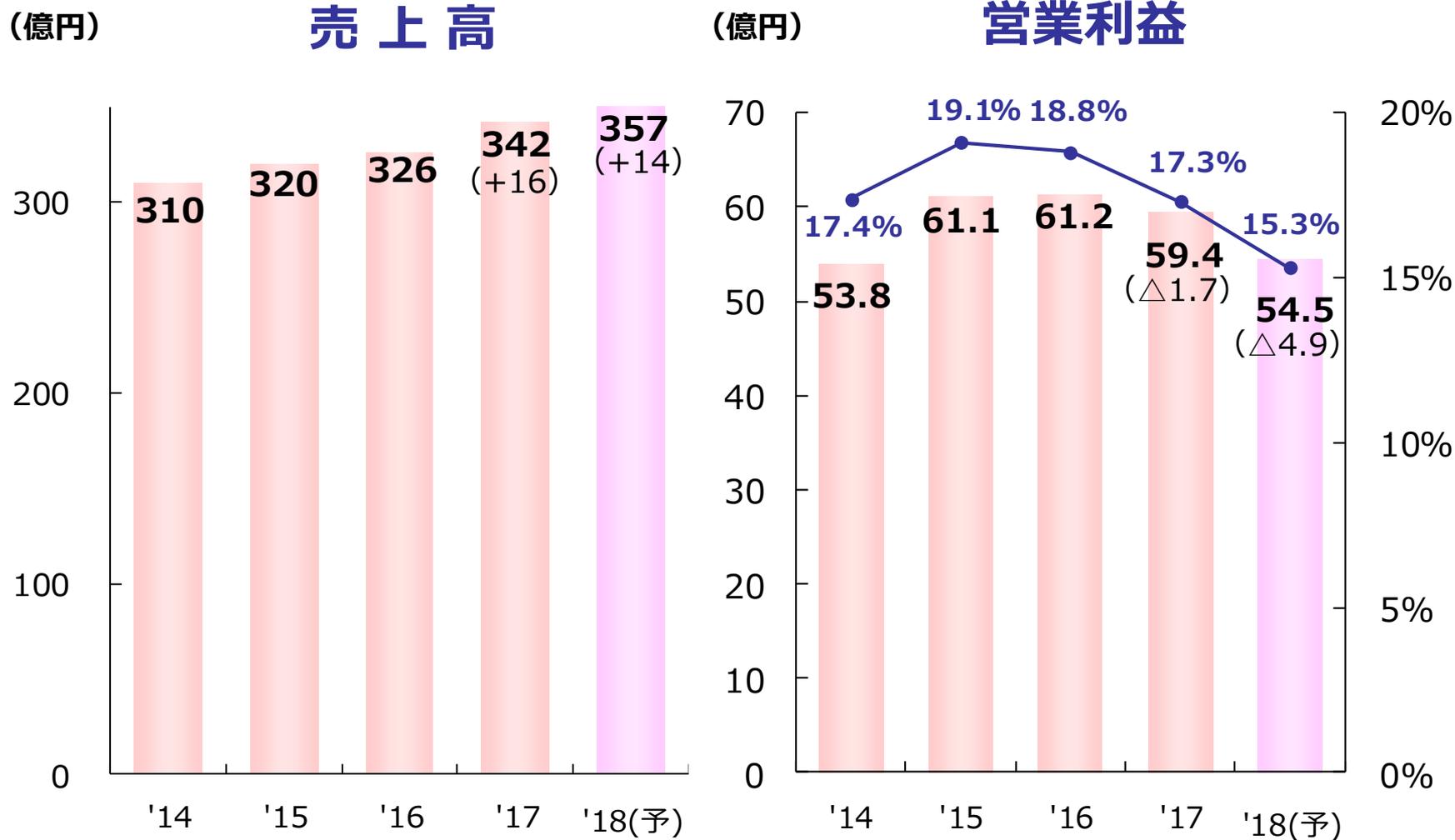
2-8 事業別セグメント：プレス樹脂製品事業

新製品売上が寄与し増収、改善等により増益



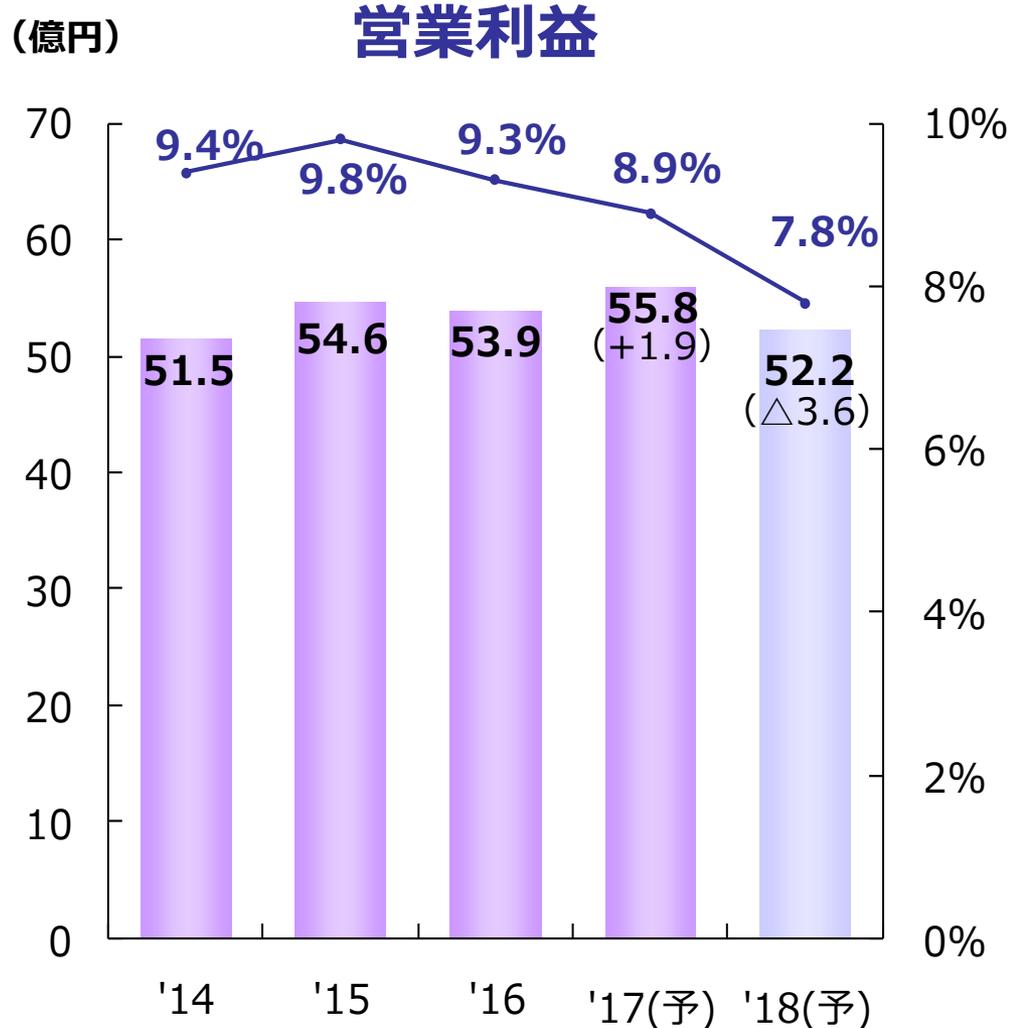
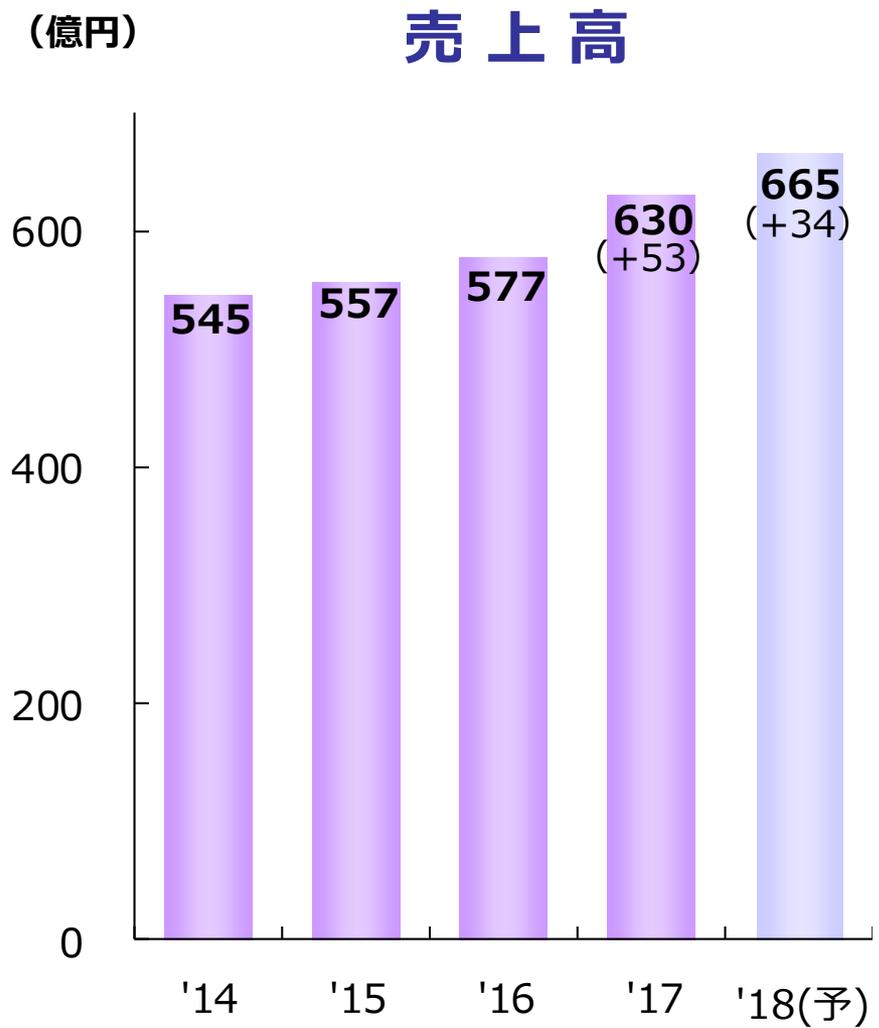
2-9 事業別セグメント：バルブ製品事業

売上高は増収も、利益は減益



2-10 地域別セグメント：日本

売上は増加も、バルブ事業の減益により増収減益



2-11 地域別セグメント：欧米

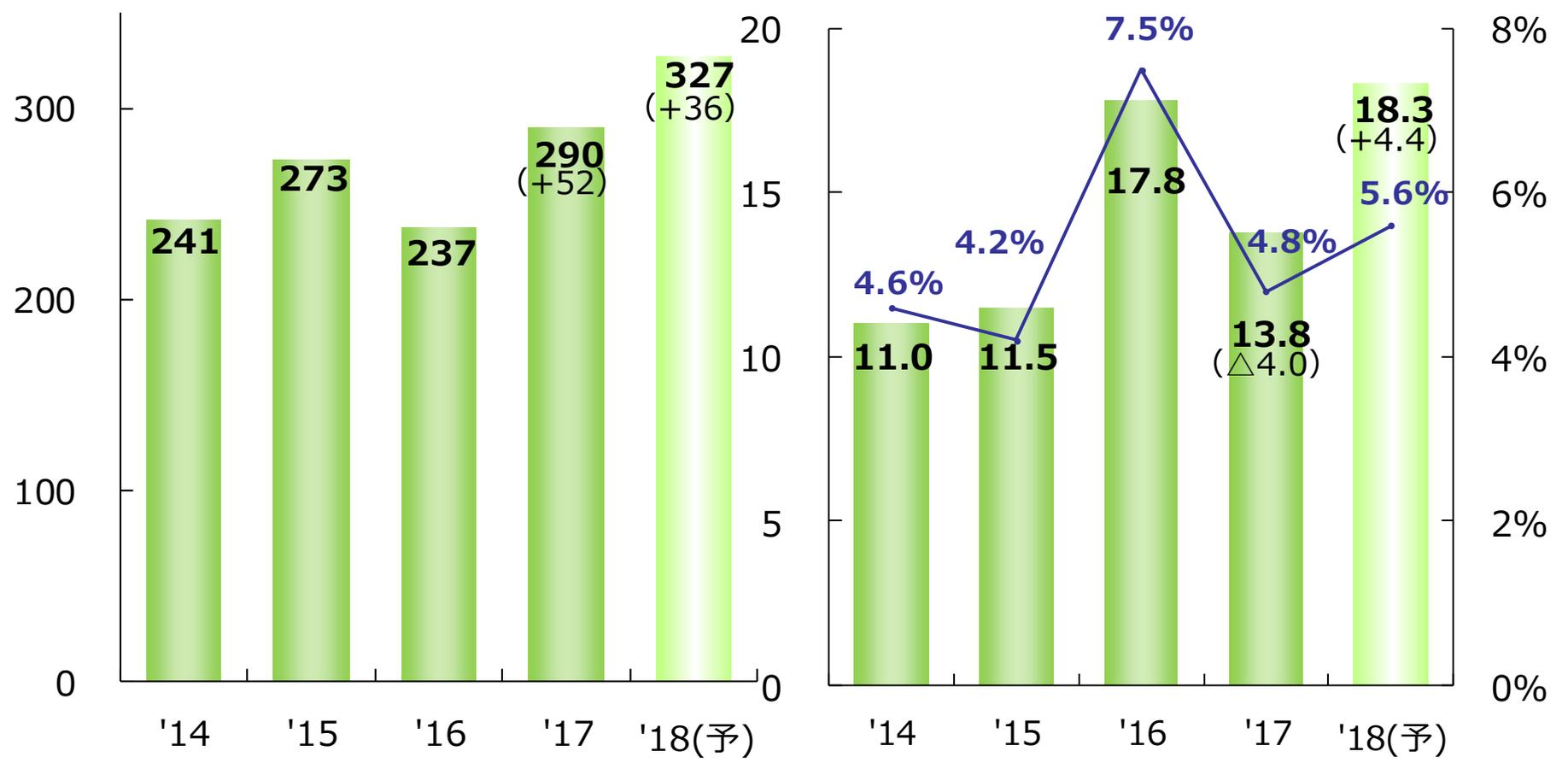
新製品増加により増収、改善等により増益

(億円)

売上高

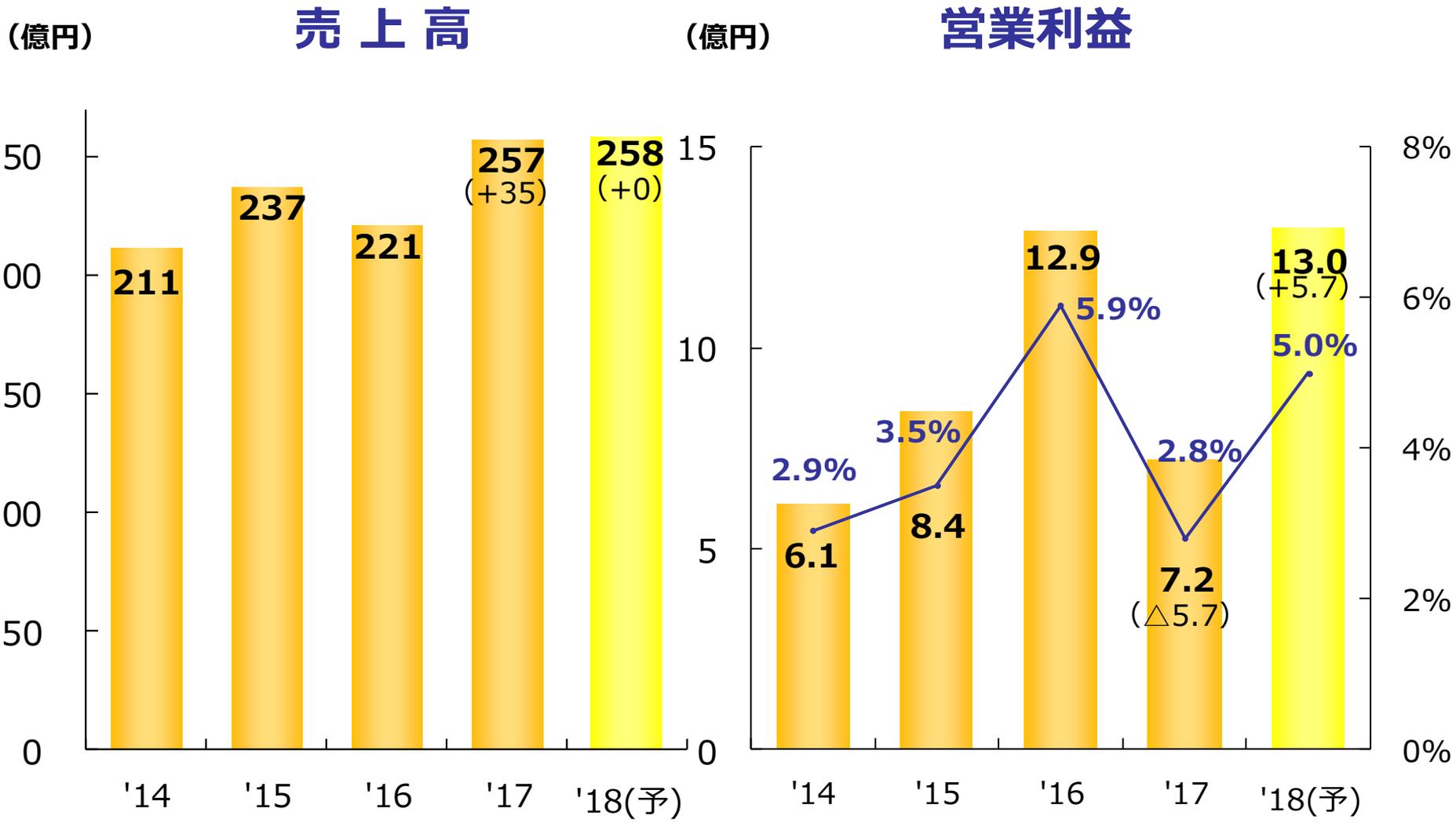
(億円)

営業利益



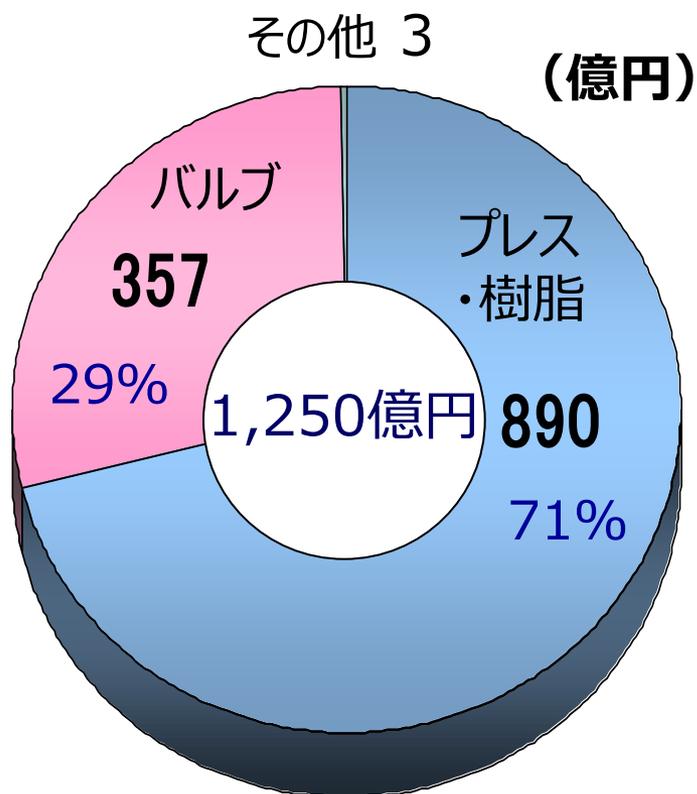
2-12 地域別セグメント：アジア

売上は前年並みも、改善等により増益



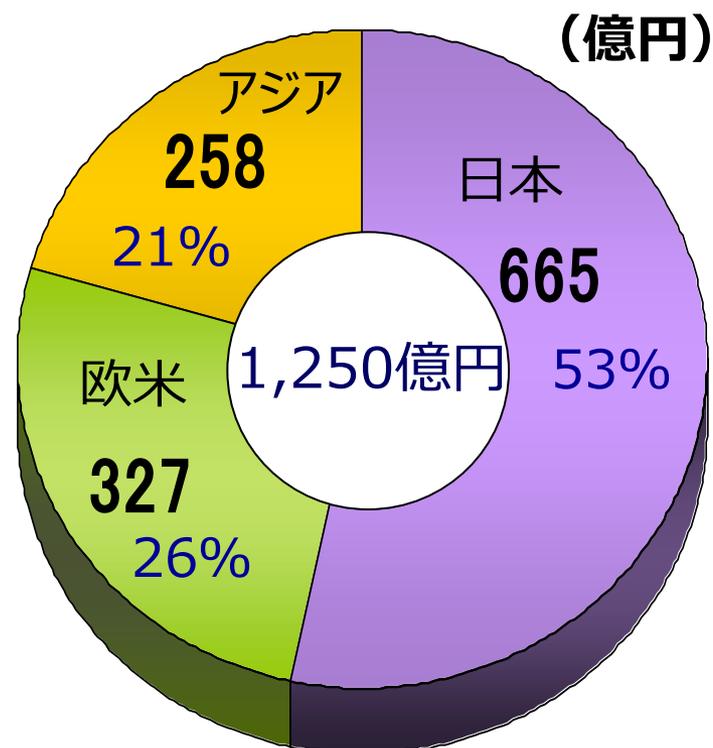
2-13 2018年度 連結セグメントの予想

事業別売上高



- 【プレス樹脂事業】 自動車用プレス・樹脂製品
- 【バルブ事業】 タイヤバルブ、空調用バルブ、TPMS
- 【その他】 情報・サービス

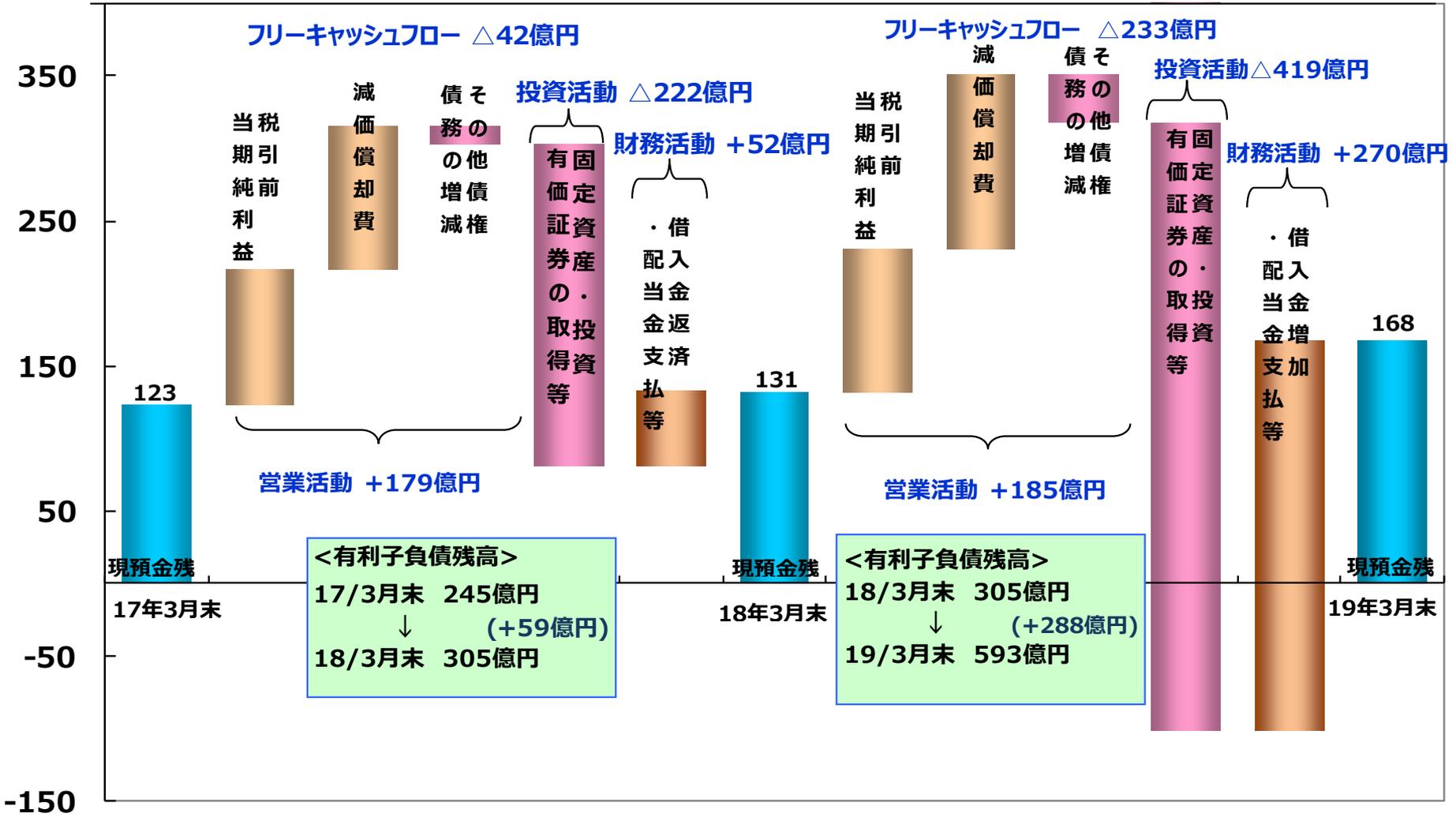
地域別売上高



- 【日本】 大垣・九州・東北の3拠点体制
- 【欧米】 米国・ベルギー
- 【アジア】 台湾・韓国・タイ・中国

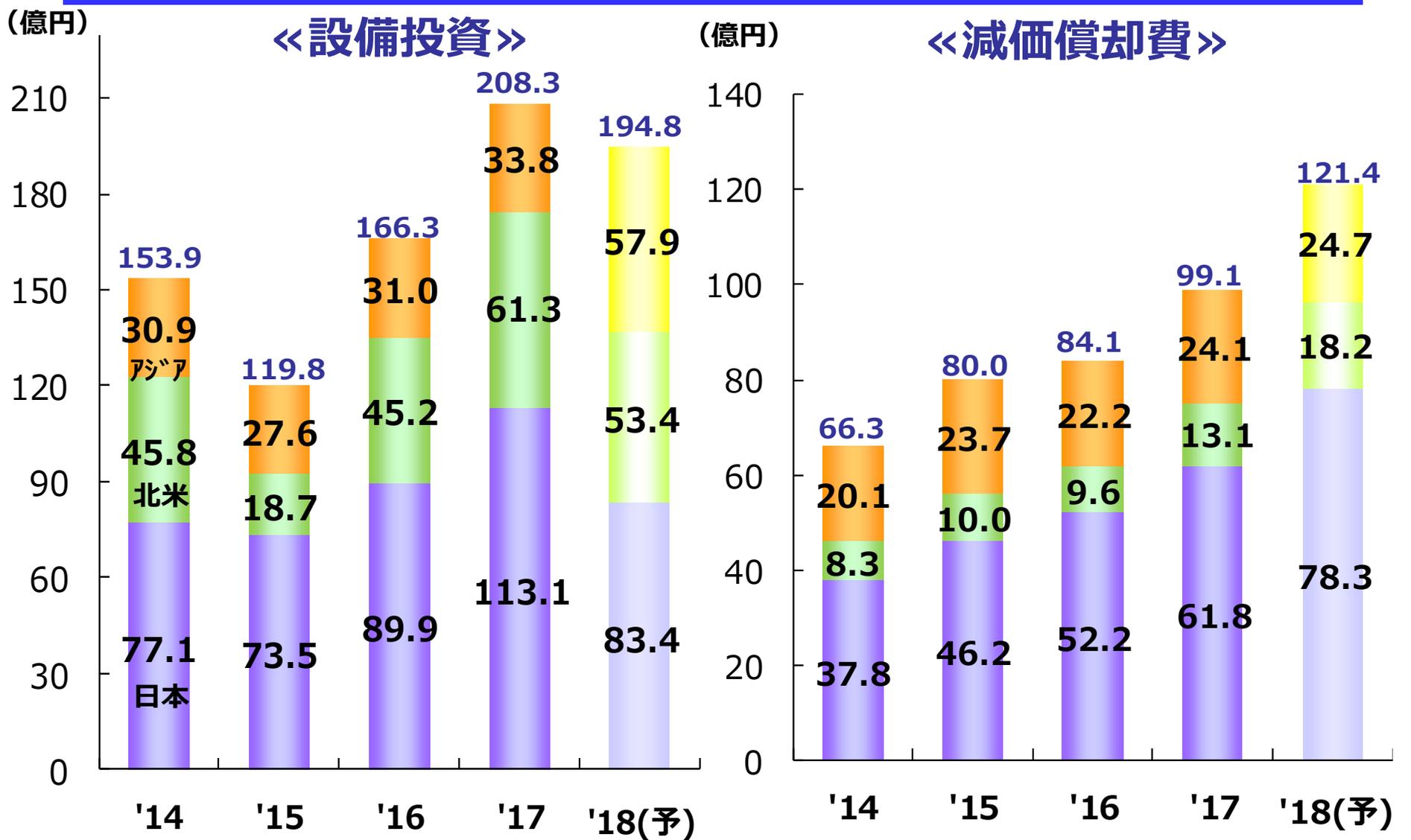
2-14 連結キャッシュフロー予想

(億円)



2-15 連結設備投資・減価償却費予想

戦略的な設備投資により、償却費が増加

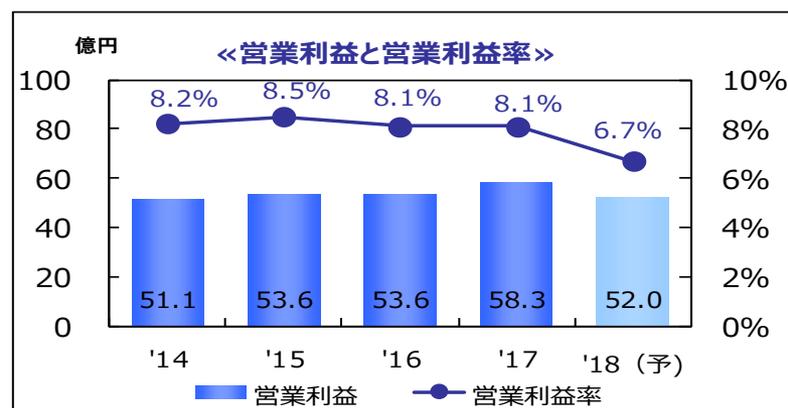
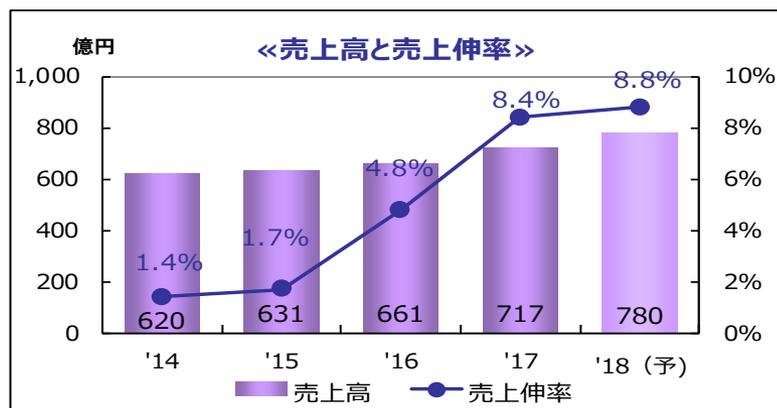


2-16 <参考> 個別業績実績・予想

☆最高更新見込み

[百万円]

	16年度	17年度			18年度		
		実績	前期比		予想	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上高	66,168	過去最高 71,715	5,547	8.4%	☆ 78,000	6,285	8.8%
営業利益	5,362	過去最高 5,835	473	8.8%	5,200	△635	△10.9%
経常利益	6,987	過去最高 7,210	223	3.2%	6,400	△810	△11.2%
当期純利益	5,414	5,284	△130	△2.4%	4,600	△684	△12.9%
配当金(1株当り)	28	28	0	—	28	—	—
売上高営業利益率	8.1%	8.1%	0.0%	/	6.7%	△1.4%	/
ROE	9.2%	7.9%	△1.3%	/	6.5%	△1.4%	/
ROA (営業利益ベース)	5.1%	5.1%	0.0%	/	4.3%	△0.8%	/
一株当り 純資産	(円) 1,065	1,142	77	7.2%	1,190	48	4.2%



1. 会社概要
2. 2017年度実績ならびに
2018年度予想
3. 中期経営計画（2018年度～2020年度）
4. Schraderバルブ事業の取得



3-1 PACIFIC GLOCAL VISION 2020

GLOCALとは、「GLOBAL」と「LOCAL」を組み合わせた造語です。私達は、世界（GLOBAL）を舞台に成長を図り、それぞれの地域（LOCAL）の発展に貢献したいと思っています。

トップクラスのグローバルな部品メーカーを目指す

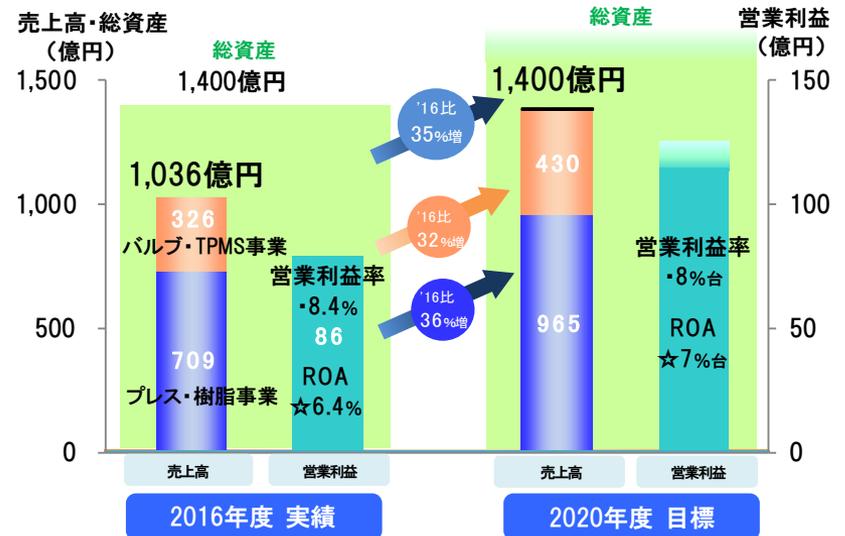
5つの“シンカ”



- 深化** : 改善する力
- 進化** : 革新する力
- 新化** : 新技術・事業を起こす力
- 真価** : 企業価値を高める力
- 信加** : 信頼を勝ち取る力

中期経営計画：OCEAN-20

2020年度目標		
連結売上高	連結営業利益率	ROA(営業利益)
1,400億円	8%台	7%台



3-2 外部環境認識

100年に一度の大変革

【規制強化】

- ・安全規制
- ・環境規制

【業界動向】

- ・新興国市場拡大
- ・技術の多様化
- ・異業種参入
- ・ものづくり革新

安全性能・環境性能・快適性能の向上

電動化

- ・PHV
- ・EV
- ・FCV

知能化

- ・AI
- ・自動運転

情報化

- ・コネクテッド
- ・IoT
- ・ビックデータ

軽量化

- ・鉄の使い切り
- ・NV性能
- ・マルチマテリアル

人とクルマ
の協調

業界動向・顧客ニーズに応える技術開発・拠点整備

3-3 軽量化ニーズへの当社の取組み

車両軽量化のために骨格プレス部品を軽量化



■ 軽量化のための新工法(FSW)

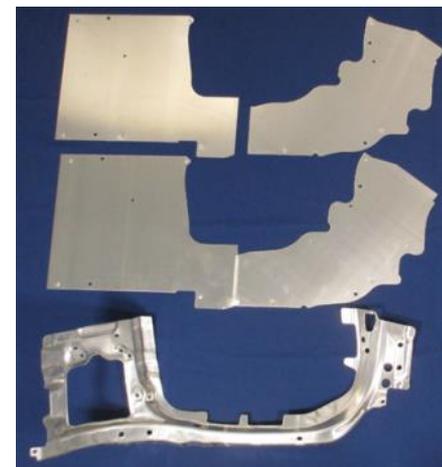
- ・板厚の異なるアルミ材を接合後にプレス加工することで軽量化・低コスト化を実現

■ 衝突安全性を兼ね備えた軽量化

- ・工法の研究・開発を行い、形状が複雑な製品の超ハイテン化など、採用拡大の取組みを実施



超ハイテン部品の売上見込

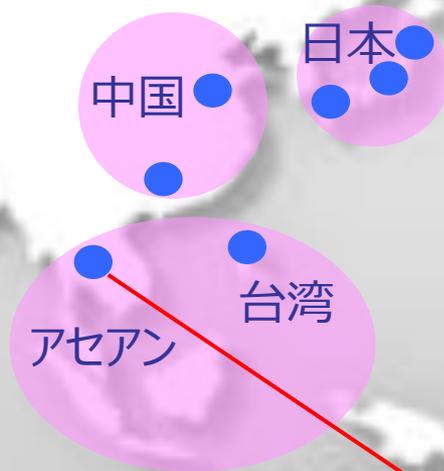


摩擦攪拌接合 (FSW)

3-4 超ハイテン部品の供給体制整備

ニーズに応えた生産体制の確立

- ・大型プレス設備の計画的な導入により、日本・北米・中国・アセアンでの超ハイテン製品供給体制を確立



工法	導入拠点		加圧能力(t)	稼働時期
冷間プレス	日本	九州	2500	'14年2月
		大垣	3000	'14年10月
	米国	テネシー	3000	'16年5月
		オハイオ	3000	'18年4月
	中国	天津	3000	'14年1月
タイ	ラヨン	3000	'18年6月予定	
ホットスタンプ	日本	大垣	500	'14年5月
		大垣	800	'16年11月
	米国	テネシー	800	'18年4月

アセアン現調化ニーズに応えタイにプレス生産拠点を設立

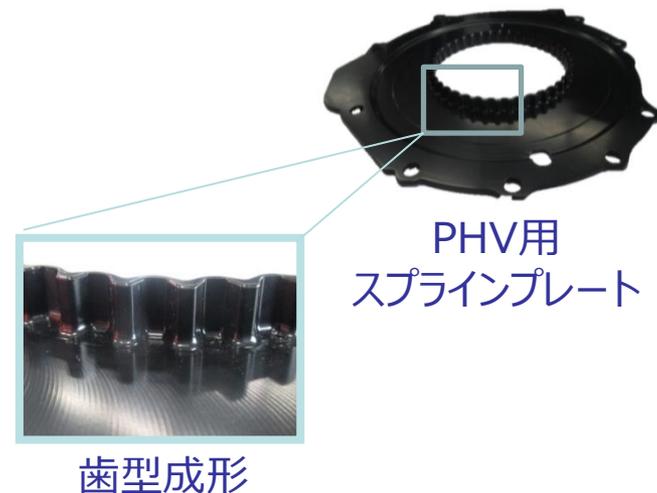


タイ プレス生産拠点

3-5 鍛圧プレス・樹脂事業の拡充

鍛圧プレス： 養老工場 第二工場の稼働開始

- ・ハイブリッド機構向け・新型AT部品等に採用され、事業拡大に伴い生産能力を増強
- ・養老工場 第二工場の拡張工事が完了し、稼働開始
- ・米国オハイオ州拠点とともに、グローバル生産拡大・多客化を推進



樹脂： 新素材・新工法で軽量化・機能向上

- ・基材とウレタンの二層構造から基材を廃止し、ウレタンのみのエンジンカバーを開発
- ・軽量化、コスト低減、防音・防振・歩行者保護性能を向上



3-6 TPMS製品の進化と拡充

新製品開発と中国拠点での生産能力増強

■ TPMSの進化（Eタイプの開発）

- ・新型TPMS送信機を開発、量産開始
- ・送信部の小型・軽量化を実現

■ 韓国自動車メーカーへの納入

- ・18年1月から納入開始

■ 中国法制化

- ・'19年1月～新型車搭載100%、
'20年1月～継続車搭載100%が決定

■ 日・米・中3極生産体制の強化

- ・新タイプの生産・販売および中国法制化に併せ、生産能力の増強



TPMS Eタイプ

■ 各地域の法制化の動き

地域	法制化開始時期
北米	2005年10月
欧州	2012年11月
韓国	2013年1月
台湾	2014年11月
ロシア	2016年1月
中近東	2017年モデル
中国	2019年1月
日本	未定

3-7 新型カムリに搭載された当社の技術

太平洋工業の様々な技術が採用

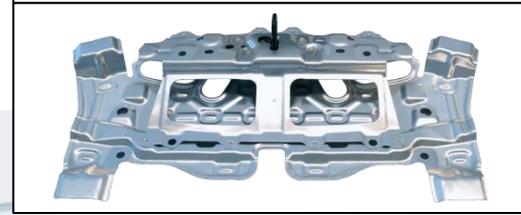


【樹脂】

オールウレタン
エンジンカバー

【プレス】

摩擦攪拌接合(FSW)
アルミ製部品



【プレス】

冷間プレス工法
超ハイツ材部品



「カムリプロジェクト表彰」受賞

【プレス】

ハイブリッド車用
バッテリーケース



【鍛圧】

ガソリン車用
8速ATハブ



【TPMS】

TPMS
(タイヤ空気圧監視システム)



1. 会社概要
2. 2017年度実績ならびに
2018年度予想
3. 中期経営計画 (2018年度～2020年度)
4. Schraderバルブ事業の取得



4-1 事業取得の概要

買収対象	英国に本社を置くSensata Technologies Holding PLC の自動車・産業機械用等のバルブ製造及び販売事業を運営 する米国及び仏国子会社 米国子会社：Schrader-Bridgeport International, Inc. 仏国子会社：August France Holding Company SAS Schrader SAS
取得価額	173百万ドル（約192億円）※1
資金調達手法	銀行借入にて充当予定
今後の スケジュール	取締役会決議：2018年5月22日 契約締結日：2018年5月22日 株式取得完了日：2018年7月中見込み※2 ※2：本件は、米国にて適用される競争法に基づく FTC(米国連邦取引委員会)の審査や仏国事業の現地 Works councilへの説明等を経て、完了となる見込みです

※1：1ドル=111.09円で計算しております。実際の取得価額は契約に基づく株式取得実行時の価格調整を実施した金額となる予定です

4-2 対象会社の概要（米国）

名称	Schrader-Bridgeport International, Inc.
本社 所在地	Wilmington, DE, USA
工場 所在地	Altavista, VA, USA
設立年月日	1985年1月
事業概要※	自動車、産業機械用等のバルブ製造及び販売事業
売上高※	100,541千ドル
営業利益※	14,085千ドル
当期純利益※	11,035千ドル

※2017年12月期。

本件では、Schrader-Bridgeport International, Inc.の一部をカーブアウト（事業分離）した後に株式を取得する予定です。
（上記数値は、カーブアウト前の財務数値です）

4-3 対象会社の概要（仏国）

名称	August France Holding Company SAS	Schrader SAS
所在地	Pontarlier, France	
設立年月日	2012年12月	1960年12月
事業概要	持株会社	自動車、産業機械用等のバルブ製造及び販売事業
売上高※	91,949千ユーロ	
営業利益※	12,909千ユーロ	
当期純利益※	9,084千ユーロ	

※2017年12月期。

本件では、株式取得後、Schrader SASの取引形態の変更が生じる予定です。（上記数値は、取引形態変更前の財務数値です。）

4-4 事業取得の狙いと戦略的意義

100年に一度の大変革に対する事業基盤の強化

長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」
中期経営計画「OCEAN-20」

創業のバルブ事業に磨きをかける

PACIFIC と SCHRADER でリーディングポジション

世界4極：日・米・欧・アジアの市場・拠点

トップクラスのGLOCALな部品メーカーを目指す

4-5 戦略的意義

PACIFIC と SCHRADER でリーディングポジション

バルブ事業	PACIFIC ブランド	SCHRADER ブランド(バルブ)	本件後
タイヤバルブ・ バルブコア	○	○	○
TPMS	○	—	○
カーエアコン用 バルブ	○	○	○
燃料系バルブ	—	○	○
航空機用バルブ	—	○	○
産業機械用 バルブ	—	○	○

4-6 戦略的意義

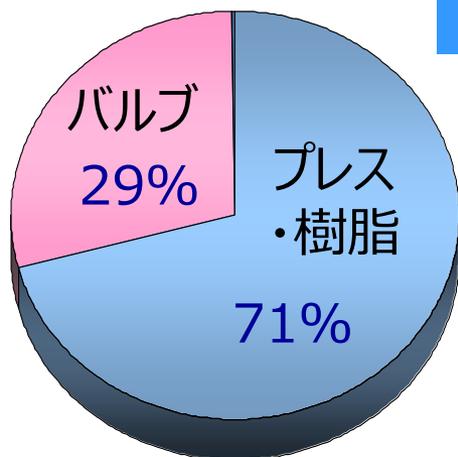
世界4極：日・米・欧・アジアの市場・拠点

生産拠点	PACIFIC ブランド	SCHRADER ブランド(バルブ)	本件後	バルブ	プレス・ 樹脂
日本	○	△	○	○	○
米国	○	○	○	○	○
欧州	△	○	○	○	△
アジア	○	△	○	○	○

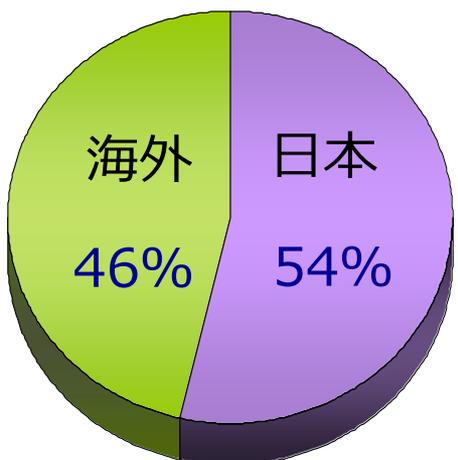
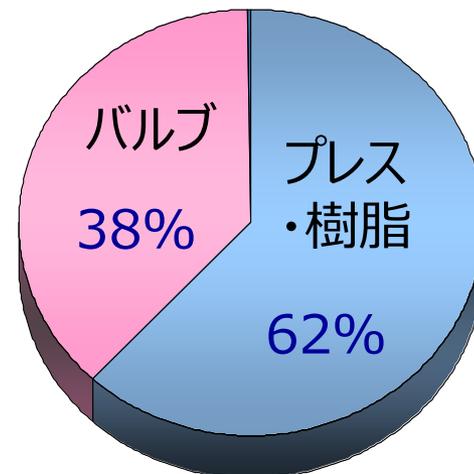
4-7 戦略的意義

トップクラスのGLOCALな部品メーカーを目指す

案件後の事業イメージ



SCHRADER
バルブ事業
売上高:約160億円

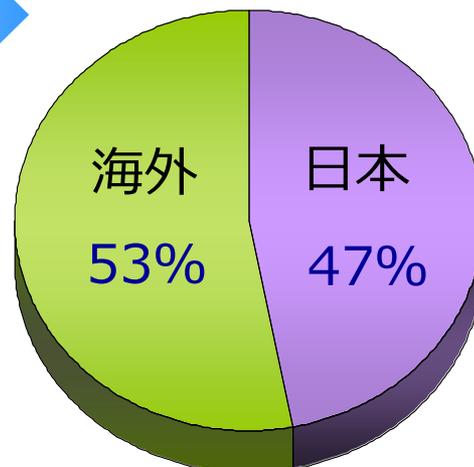


※17年度決算単純合算ベース

【業績影響】

2019年3月期に与える影響については、今後精査を行い、速やかに開示いたします

併せて「OCEAN-20」の2020年度目標を見直します



4-8 100年企業をめざして

PACIFIC VALUES



私たちの心構え



【夢と挑戦】

- ・常に夢(目標)を持ち、失敗を恐れず挑戦する。
- ・失敗しても次の夢への糧にし、その夢を追い続ける。

【信頼と感謝】

- ・「和」を大切にし、常に相手の立場に立って考える。
- ・自然に「ありがとう」という言葉が生まれる風土をつくる。

企業価値向上の取組み

